

News! the 世界遺産

鶴岡八幡宮大銀杏…ヒコバエ生育、順調です

鶴岡八幡宮の大銀杏は、ヒコバエの順調な成長などで予想を上回るピッチで再生しています。倒伏直後から再生を手がけてこられた東京農大教授（生物環境調節学）の濱野周泰さんに、倒伏以降の体験を伺いました。

社叢^{しゃそう}学会で神社とかお寺の杜などにかかわる調査研究を進めており、2年前に鶴岡八幡宮の吉田宮司から言われ、森の存続とか、健康の回復などでお手伝いをしていたところ3月10日朝、八幡宮からの電話で大銀杏の倒伏を知らされました。

直後に「再生不可能」という私の考えがマスコミで伝えられました。「再生」というと前の状態にすべてが戻るという意味にとられ、原状回復は不可能だという意味だったのです。すっぱり言わないと迅速な対策が

講じられません。おかげで神奈川県天然記念物指定解除がスムーズにいきました。指定されたままでは幹を切断したり、場所を移動するなどの手当てが滞ってしまいます。現状には戻らないということであれば形が変わり、場所が移動しても八幡宮の理解が得られるということもありました。

銀杏は大変生命力の強い木で、挿し木が非常に容易ということもいわれており、一定の高さで植え付けられ、萌芽するだろうという予測も立てられました。幸い今年の夏は非常に暑く、ヒコバエの成長にプラスに働いたといえます。暑いので蒸散が進み過ぎたり、水が切れると枯れてしまいます。具合の悪いものは剪定で除伐していただいて管理してもらっています。9月下旬から10月に入って急激な低温があると枝の先が痛みかねない不安もあります。

鎌倉は三方山に囲まれているので、その中での生活様式をもっと表に見せると、遺産としての価値が生まれるのではないのでしょうか。そのためには地域を守るための方策を立てなければなりません。渋滞回避も含めて駐車場とか交通の流れを整理する必要があります。歴史遺産を守り、鎌倉が持っている文化性の再生のために地域計画の立て直しを図るべきです。生命の継続のために鎌倉が持っている文化のDNAをもう一度再生させるべきです。大銀杏再生の体験は交通網の整備などで鎌倉の街の周辺整備でもいえるはずです。

※インタビュー詳細は下記ブログに記載しています。
<http://blog.livedoor.jp/kikurotakagi/>



倒伏した大銀杏を調査する濱野さん（鶴岡八幡宮提供）

Watch! the 世界遺産

GOGO TOWN in 大さん橋

9月2日、3日、横浜の大さん橋ホールで行われた55歳以上の人のための文化祭「GOGO TOWN in 大さん橋」で、鎌倉市老人クラブ連合会の作品展示とともに、推進協議会も鎌倉の世界遺産候補地のパネル展示を行いました。2日間で1万人を超える来場者があり、推進協議会のブースの前にも、多くの人が足を

止めました。鎌倉の世界遺産登録への理解を深めてもらえた2日間でした。





Event! the 世界遺産

鎌倉世界遺産登録推進協議会主催・鎌倉の世界遺産登録をめざす市民の会共催

第4回 ワークショップ「鎌倉の世界遺産登録へのまなざし」

鎌倉の世界遺産登録に向けては、神奈川県と横浜市・逗子市が鎌倉市と共に協力連携して活動を進めています。今回は2市をはじめとする県下の各市町村のみなさんの参加を募り、数テーブルに分れて「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録について活発な話し合いをする企画です。もちろん従来と同様に鎌倉と首都圏住民の参加も前提にしています。

と き 平成22年10月31日(日)13:30～16:00 **ところ** 御成小学校体育館 **定 員** 60人(先着順) **参加費** 無料
申込方法 申込方法／住所・氏名・電話番号・メールアドレスを明記、はがき・FAX・Eメールで下記の推進協議会事務局「ワークショップ係」へ。

鎌倉の世界遺産登録をめざす市民の会主催・鎌倉世界遺産登録推進協議会共催

第20回 鎌倉の世界遺産登録連続シンポジウム「鎌倉の若者たちと世界遺産」

今回は、従来の識者に講演・議論を依頼するというスタイルを脱却し、鎌倉の未来に想いを持つ若者たちによるパネルディスカッションを行います。30代の松尾市長も参加します。

と き 平成22年11月20日(日)13:00～16:30 **ところ** 建長寺・応供堂 **定 員** 100人(先着順)
参加費 建長寺入山料(300円)＋資料代(200円) **申込方法** 住所・氏名・電話番号を明記し、電話・ハガキ・FAX・Eメールで鎌倉風致保存会へ。
〒248-0012 鎌倉市御成町9-1 TEL 0467-23-6621 FAX 0467-23-6631 E-mail:fuhchi@fsinet.or.jp

いざかまくらトラスト主催・鎌倉世界遺産登録推進協議会共催

鎌倉文化を学ぶ会 第1回(講座と現地見学)「鎌倉幕府滅亡の舞台～元弘三年、東勝寺炎上」

鎌倉文化のコミュニケーターづくりをめざす講座の第1回。新田勢の鎌倉攻めにより、小町の菩提寺・東勝寺に追い込まれた北条一族。そのとき鎌倉はどこまで炎上したのでしょうか。

講座と現地見学で、滅亡の舞台に秘められた歴史の謎を学びます。(茶話会形式)

講 師 伊藤正義さん(鶴見大学文化財学科教授)
と き 平成22年11月14日(日) **日 程** 12:30 鎌倉駅西口(集合)～(講座)扇ガ谷・個人邸～(現地見学)東勝寺跡～(解散)16:00
参加費 1000円(当日:資料代・御茶菓子付) **お問合せ** 0467-44-3863(越野恵子) **当日連絡先** 080-4298-7162(佐藤)
申込締切 11月7日(必着) **定 員** 30名(先着順) **お申込** 住所・氏名・電話番号を明記して下記へ。
(ハガキ)〒247-0063 鎌倉市梶原1-17-36 武永有里 (FAX)0467-48-3595 (Eメール)kamatara08@yahoo.co.jp

EDITOR'S NOTE

広報部会長 内海恒雄

鎌倉の世界遺産登録も三回目の国際会議が行われていよいよ登録への準備も整ってきました。国際会議では過去の会議の課題について「武家の古都・鎌倉に対する理解が深められた」という評価が得られ、登録に向けて前進しました。しかし厳しさを増している世界遺産登録審査を踏まえ、今年度はユネスコへの推薦書の完成をめざし、登録申請は見送られることとなりました。ユネスコ前事務局長の松浦晃一郎氏の講演で、世界遺産登録の現状が極めて厳しいものだということが良く分かりました。登録には市民の熱意も大切だとよく言われます。世界遺産のワークショップでは、市民はもちろん市外の人にも参加を呼び掛けています。世界遺産の連続シンポジウムでは、松尾市長をはじめ、鎌倉の若者も巻き込んだ新企画を実施します。世界遺産推進にも新しいエネルギーが加わりそうです。頼もしい限りです。

編集後記

編集委員／大竹正芳 菊池威雄 後藤辰郎 佐藤江里子 高木規矩郎 都筑健一 能登原秀実 福澤健次 横岩宏志 牧れい花
デザイン／澤田ながえ

★鎌倉世界遺産登録インフォメーション&放送スケジュール★

インターネット

●鎌倉世界遺産登録推進協議会HP
<http://www.shonan-it.org/KWH-kyogikai/>

FMラジオ

●鎌倉FM(82.8MHz)……毎週日曜 12:00～12:30
「湘南鎌倉いまむかし」番組後半「鎌倉世界遺産への道」

ケーブルテレビ

●JCN 鎌倉……毎週木曜 17:10～(当日再放送あり)
7Days デイリー「一問一答! 鎌倉検定の道」

鎌倉世界遺産登録推進協議会事務局

〒248-8686 鎌倉市御成町18-10
鎌倉市世界遺産登録推進担当
Tel. 0467-61-3848
Fax. 0467-23-1085
E-mail:sekaiisan@city.kamakura.kanagawa.jp